

行事カレンダー — 3月— (16日→31日)

- 17日(木) 彼岸入り
19日(土) バスケットボール教室in能代
(総合体育館)
- 20日(日) 春分の日
小学生研修会ソフトテニス
(アリナス)
- 24日(木) 広報のしろ発行日
27日(日) バレーボールスポーツ少年団
能代大会
(総合体育館・市民体育館・
B & G海洋センター)

・戸籍住民台帳窓口
(毎週金曜午後7時まで戸籍住民係)

能代市の人口 (平成17年2月末現在)

人口 53,106人 前月比 -70
(男24,960人、女28,146人)
世帯数 20,291世帯 前月比 -21

子ども館春休み講座

春休みに5講座開設します。詳しいことは問い合わせください。

(問合せ) 子ども館 ☎52-1277

『昭和31年 大火の日』の防火行事

3月20日は『昭和31年 大火の日』です。今年で49年目を迎え「大火の日」も風化しようとしています。火災に対する認識を新たに、警火心の高揚と火災予防の徹底を図り、有事即応の防火体制を整えることを目的とします。

1. サイレンの吹鳴について

3月20日(日)午後9時に消防署、東能代・向能代・西の各消防出張所、消防団で一斉に10秒間吹鳴する。

2. 広報・警戒巡回について

(1)消防団

各分団車は、午後9時のサイレン吹鳴と同時に、自分団区域内を警戒巡回する。

(2)消防署・各消防出張所車

①指令広報車は、午前7時・午後2時・5時・10時の4回。

②消防出張所車は、午前9時・午後2時・7時の3回。

3. のぼり・吹き流しの掲出について

火災予防組合および婦人防火クラブでは3月20日(日)に、のぼり・吹き流しを掲出して市民の警火心を喚起する。

4. 実設訓練について

3月20日(日)午前10時ごろ、住宅密集地で、火災を想定した消防署独自の実設訓練を実施する。

『火の用心7つのチェックポイント』

1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない
2. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
3. 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
4. 風の強いときは、たき火をしない
5. 子供には、マッチやライターで遊ばせない
6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
7. ストープには、燃えやすいものを近づけない

(問合せ) 能代地区消防本部 ☎52-3311

過去の災害を忘れずに！ ～3月20日は昭和31年大火の日～

大火の状況 (当時の新聞などから)

この日は、2件の火災が発生し、2回目が大火になった。

■出火・延焼状況

- ①1回目の火災で、鎮火の見通しがつき、現場から引き揚げ作業中に発生した。このため、午後10時50分頃に皇町から出火した2回目の火災現場への出動が、やや遅れた。また、すぐに使用できるホースが不足していた。
- ②当時のホースは麻製でいったん水を含むと硬化するため、次の場所に移ろうとしても棒のようなホースを運ぶことができず、そのためホースが不足した。
- ③東の烈風によって、火勢を増した。

④第1次大火後、ポンプ車が12台に増強され、さらに、道路拡幅(皇町)や消火栓の整備を進めていたものの、結果的に手に負えなかった。

■その後の状況

- ①2度にわたる大火は、戦中戦後の混乱から立ち上がろうとしていた市民に大きな苦難をもたらした。産業・経済も壊滅的な打撃を受け、市の行財政にも深刻な影響を与えた。
- ②しかし大火後、市営アパートの建設や道路整備、柳町新道の拡幅、上下水道事業の開始などの事業を行い、この災厄を「近代都市・能代」建設としてとらえ実現してきた。